



卒業おめでとうございます

—971人が学窓を飛び立つ—

こまざわ経済通信

発行

駒澤大学経済学部
同窓会

〒154-8525
東京都世田谷区駒沢
1-23-1

同窓会の役割を再確認

経済学部同窓会会長 勝場 政範

毎年、三月の恒例の行事
と言えば卒業式。

今年度経済学部では九七
一人が卒業されると聞いて
おります。ご卒業おめでと
うございます。心よりお喜
び申し上げます。

卒業生にとっては、夢と
希望を抱いて未知の社会に
巣立って行く大きな節目で

あり、われわれ同窓生にと
つては思い出のスタートラ
インでありました。

今春卒業の皆様は、今抱
いている希望を常に忘れず
に社会にチャレンジする姿
勢をもち続けてください。

苦しいときもあるでしょう
が、投げ出す事なくチャレ
ンジし続けられ、苦しさも

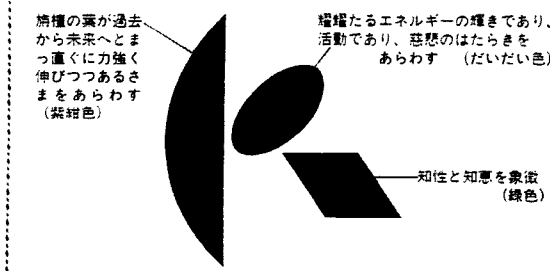
いつの間にか消え充実の
日々が待っています。

同窓生におかれましては、
歩んで来た道と目標は違っ
ているかも知れませんが、
駒澤大学の「行学一如」の
「禅」の精神を基本ベース

に理想をもちながら日々の
現実の中で十分対応し、力
強く生き抜いておられるこ



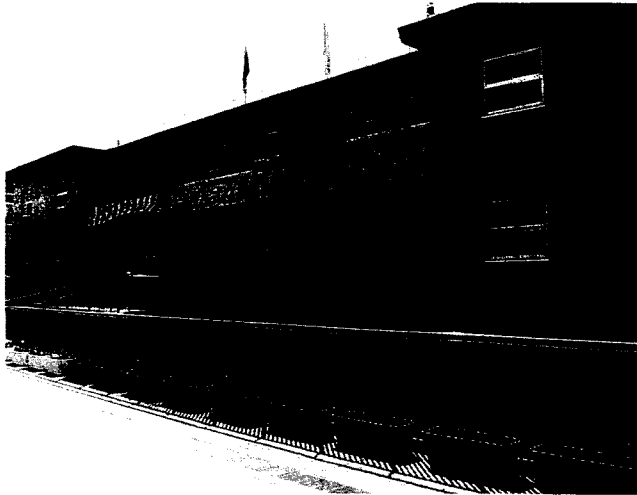
駒澤大学・駒澤短期大学のシンボルマークが誕生!



駒澤大学・駒澤短期大学のシンボルマークが制定されました。同窓生の皆様、シンプルで力強く優美で、親しみのあるこのマークをよろしくお願いします。

昨年5月下旬から9月16日までの期間、作品を公募したところ257点の作品が寄せられました。残念ながら採用作品(最優秀賞)に該当する作品がなく、入選(優秀賞)4点、佳作(特別賞)5点が選ばれました。これらの作品をベースに勝井三雄氏(武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科主任教授)にシンボルマークの作成を依頼して今回の完成となりました。

最も大事なことは、学部の壁は越えて、社会に出て経験を積んだ同窓生が二十一世紀を目前にした今、駒澤大学に何を求めているかです。生きた情報であるその「声」を同窓会を通して、大学に届け、共に繁栄していくことだと考えております。大学と同窓会が一体となつて駒澤大学の存在感をあらゆる機会に社会にアピールし、感動を与えることが大事な役割だと認識しております。是非、皆様の「声」を経済学部同窓会にお寄せくださるようお願いいたします。



四季報

最近読んだ
企業小説のモ
デルが世界の
HONDA創
業者本田宗一
郎だった▼技
術屋社長とし

て常に自らが製品開発にあたり、HONDAを世界の大企業にまで成長させた彼の持論は、「よい製品を作ればすべてよし」というものだった。今の企業は、販売戦略を追求し過ぎて本質を見失ってはいないだろうか。この小説の作者も現代企業に対する警鐘を鳴らしている。しかし、現状は数字という怪物が世の中を席巻している▼長野五輪が開幕したが、肝心なのは経済効果や視聴率ではなく、人々の印象に残る感動的な大会であったか否かのはずだ。大会前「IOCは莫大な利益地元は大損」との見出しを週刊誌の電中吊り広告に見た。マスコミはこそって数字獲得に走り、数字が唯一絶対の価値基準でもあるかのように振る舞っている▼複雑化する社会で情報処理能力の乏しい少年たちが目標を見失い破滅的な行動へと追い込まれ、それをおもしろおかしく報道する。現代社会は数字に支配され過ぎている気がしてならない▼大学も受験人口の激減で苦勞をしているが肝心の偏差値でも、PRの巧拙でもなくいかによい教育・研究・環境整備がなされているかであると自らに言い聞かせている。同窓会の充実も大学の魅力なのだ。

経済学部ソフトボール大会開催

37チーム参加・定着した一大イベント

平成九年十月十五日に経済学部と経済学部同窓会が主催（後援：教育後援会）するソフトボール大会が盛大に開催された。

第一一五回目の開校記念日にあたるこの日、会場となった玉川グラウンドには教職員同窓会チームを含む37チームが集合、自然の戦いを繰り広げた。

わが教職員同窓会チームは二回戦からの登場。一回戦で大石雄爾二・四年ゼミを11-3の大差で破り、二回戦に駒を進めた清水卓三年ゼミとの対戦で苦戦は必死と思われたが、固い守り

で一点を争う好ゲームを展開した。

結局試合は4-4の引き分け、ジャンケン対決に敗れ緒戦突破は果たせなかったが、学生達と一体になり楽しい時間を過ごすことができた。

今回も多くの先生方がグラウンドに姿を見せ、プレーに応援にと汗を流していた。

決勝戦は、谷敷正光四年ゼミと古沢絳造三年ゼミの対決となった。

恒例のナイターとなったこの試合、さすがに勝ち進んできたチーム同士でレベ

ルが高く、随所に好プレーが見られた。

結果は6-3で谷敷四年ゼミの優勝であった。前年は谷敷三年ゼミが優勝しており、二年間負け知らずの素晴らしい成績を残した。三位は谷敷ゼミ連合チーム、四位里中恒志三年ゼミであった。



経済学部のイベントとして定着したソフトボール大会だが、一つだけ残念なことがあった。

この日各チームに参加賞、飲食物が袋に入れて配られたのだが、車座に座って談話をしていたあるチーム、食べ残しを中央に残したまま散会してしまっただけの一生懸命準備にあたった人達の思いを考えると実に残念な出来事であった。参加する



37チームによる熱戦が繰り広げられた



さまざまなスタイルでプレーを楽しむ



表彰式で満足気な顔を見せる学生達

●(広告募集と投稿のお願い)

「こまざわ経済通信」に広告を掲載しませんか。
「こまざわ経済通信」は三月と十月の年二回発行します。発行部数は五〇〇部です。

ことに意義がある。しかし、か一度考えてみてはどうだろうか。

「こまざわ経済通信」に広告料は縦8センチ、横5.5センチの掲載サイズで一万円とします。

また「こまざわ経済通信」では皆様からの原稿を募集しています。駒大同窓生同士のコミュニケーションの場であるこの紙面に是非投稿ください。テーマは問いません。

(連絡先)
駒澤大学経済学部同窓会
広報部会 幹事・浜門真吾
〒154-8525
世田谷区駒沢一―三三―
電話
03 (3418) 9049
FAX
03 (3418) 9050

KOMAZAWA UNIVERSITY CAMPUS PHOTOS

今回は最新のマルチメディア教室を紹介します。

◆言語201教室◆

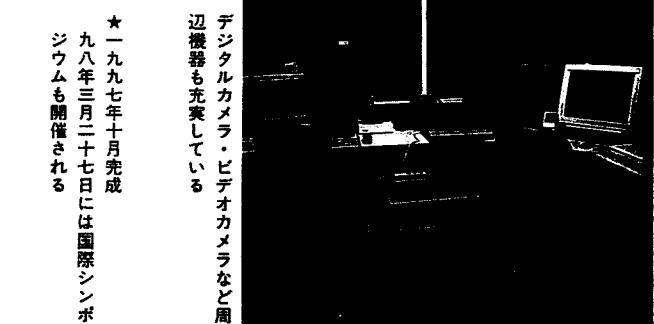


100インチスクリーン2台に補助モニター同時通訳システムなどを備えたコンピュータ時代のハイテク教室だ

駒澤大学ホームページアドレス
<http://www.komazawa-u.ac.jp>



高解像度カメラはどんなものでも鮮明にスクリーンに写し出す



デジタルカメラ・ビデオカメラなど周辺機器も充実している
★一九九七年十月完成
九八年三月二十七日には国際シンポジウムも開催される

同窓生によるキャンパスレポート

駒大探訪

第2回 富浦セミナーハウス探訪

●今回のテーマ●
千葉県・富浦セミナーハウスの
宿泊体験レポート
●リポーター●
石塚 武氏(四十三年度卒)

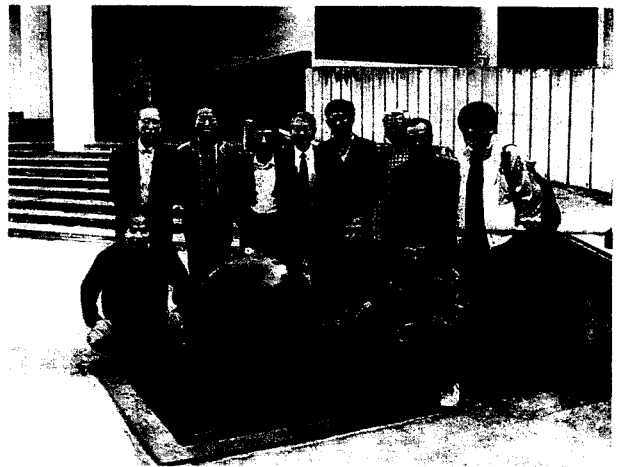
充実の施設に驚きの連続

久しぶりに母校の大学会館前に集合、なつかしい先輩の顔が揃っている。参加者十二名、同窓会幹事・役員らの研修親睦会。
それぞれの車でいざ出発。車はフェリー出発港久里浜へ。東京湾フェリーで海の向こうの金谷港へ向け出港。ドラが鳴り、浜風が身体に巻きつき気持ち良い。
陸に上がり一二七号線を直進、勝山漁港を抜け岩井



近代的な外観の富浦セミナーハウス全景

を越え、目的地富浦町の街へ入る。更に大房岬に向けハンドルを切ると忽然と駒大セミナーハウスが出現。白亜の建物が夕日をうけ我々を迎えてくれる。
夕食まで時間があり館内を見学すると驚きの連続。リゾートホテルかと錯覚する立派な施設。清潔でゴミひとつ落ちていず、各部屋には地元で取れたお花が飾られ管理の方々の温かい気持ち伝わってきた。
敷地約六〇〇坪、鉄筋コンクリート三階建、一階は娯楽室、二階には海が眺められる食堂とラウンジが配置されている。セミナー室7室、図書教材室、談話コーナー、部屋は大小二十三室で収容人員一〇〇名、屋外にはテニスコートとバタゴルフ場(コンクリート作り)で8ホール、数名で試してみたがゴルフ好きにはお薦めできないバターの調子を崩します。学生の使用料金は一泊二食で四〇〇〇円とは安い。そんなことを考えていると、幹事さんの「そろそろ夕食ですよ」の声。一階の和室大広間には、豪華な、地の魚、菜、酒が並び、勝場会長の「母校同窓会組織も全国に各支



かつて本館前にあった噴水口はここに…(後列右から3人目が石塚氏)

部が続々と誕生しており、今後も母校を中心に同窓の輪を拡げましょう」とのあいさつで親睦会が始まりました。盃を交わすことに声が一段と大きくなる。「先輩ぐつと一杯ノリ」ところで〇〇君はどうしてる?「俺たちのころはまだ玉電が走っていたね!」渋谷には百軒坂があつて!「そうそう矢吹先生の講義は今社会に出てみると国際経済って理解できるね!」など、尽きぬ思い話に夢中になっていた我々の頭の少し薄くなった我々

駒澤大学富浦セミナーハウス

セミやサクルの合宿はもとより、教育・厚生にかかわる種々の利用目的に応ずる機能を備えており、平成三年七月にオープンした。海と山が調和する風光明媚な場所に建ち、利用者からはたいへん喜ばれている。
千葉県安房郡富浦町多田良字磯ノ協一二五四所在地

経済学部同窓会会費納入のお願い

【年会費については、3年を1単位として納入する方式に致しております。】
会費納入額と納入時期は以下のとおりです。
すでに納入くださった方は、次回は平成11年11月の納入になります。
◇平成10年11月(平成10年3月卒業生および既卒者の新規加入)
平成10年度分(1年分2,000円)=2,000円
◇平成11年11月(平成11年3月卒を含む全卒業生:第3回総会開催時)
平成11年度-平成13年度(1年分2,000円×3年度分)=6,000円

各種連絡・振込等には会員番号を忘れずに

これまでに駒澤大学経済学部を卒業した同窓生は約44,000人になります。しかし、卒業後に同窓会への異動連絡がなかったために連絡が不可能になる方が例年後を断たず開催通知の発信人への返送等も非常に多くなって来ております。
また連絡を頂いても住所と名前だけで事務処理が非常に困難です。経済学部同窓会事務局への異動等の各種連絡や会費の振り込み等に際しては必ずFaxまたは郵便等文書で、同窓会会員番号、卒業年月を忘れずに記入して下さい。
【みなさんの会員番号は、総会開催通知の封筒に記載されている番号です。】
例:〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇〇〇 141-93-123456

四十一一年目の同窓会

読者投稿

平成九年十一月二十八日(金)に昭和三十一年三月(金)に昭和三十一年三月 期生 卒業の東京・埼玉・千葉・神奈川地区在住者に商経学部(現経済学部)第五による懇親会を開催いたしました。全国の同窓生が約二百名、そのうち住所が確認できた東京・埼玉・千葉・神奈川の三十九名に案内状を発送し、うち十八名の方より出席の回答がありました。欠席のうち死亡と病氣療養中の方が予想以上に多いに驚きました。



しかし、同窓会事務局からの資料を配布しながら自己紹介後、歓談に入り思いで話をしていくうち、すっかり学生時代の気分に戻ってしまいました。懐かしさのあまり、アツと言う間に三時間半が経過してしまいました。名残惜しくもありましたが、再会を約束したうえで次回の幹事を決めたいと散会いたしました。次回は全国の同窓生に呼びかけるよう工夫いたします。
世話人・K

駅伝、サッカー、野球大活躍

母校の活躍は何よりの喜び・ガンバレ駒大

駒大

キャンパス情報



箱根駅伝4区を激走する主将の藤田幸則

箱根駅伝―それは学生ランナーたちのあこがれの舞台。その箱根に旋風を巻き起こしているのが駒大だ。

平成十年正月、住路では一時トップに立つ大活躍、歴史に残るデットヒートも演じた。同窓生の皆さんもさぞ興奮したこと想像する。結果は総合二位であったが、前年の六位からジャンプアップ。復路新記録で優勝を果たした勢いをそのままに、躍進を続けている。来年は悲願の初優勝といきたいものである。

この陸上競技部の頑張りに触発されて、駒澤大学を応援する会(昭和51年経営学部卒・中井典郎会長)なるものが誕生している。同窓生を中心とした活動で、今年母校応援のノボリ旗四〇〇本を製作、沿道に立て

た。テレビでも今年は駒澤のノボリ旗がよく映し出されていた。このノボリ旗、当初は駅伝応援の目的で作ったのだが、今後は、あらゆる部、サークル、個人に使ってもらおうという。さて、陸上競技部の活躍はこれだけではない。

昨年十月十日に行われた出雲全日本選抜大学駅伝は、並み居る強豪を打ち破り、見事初優勝を果たしている。神奈川大とのマツチレースとなったが六人のランナーがそれぞれ力を発揮し、最後はエースの藤田敦史が、神奈川大の渡辺を振り切つて決着をつけた。

この藤田(敦)は、今年二月二十二日に熊本市で行われた熊日30キロメートルロードレースでも大記録を打ち立てた。社会人ランナーや学生界のトップランナ



Jリーグも注目の盛田剛平(商学科)

やっばり駒大は野球が強いと盛り上がらない。しばらく優勝から遠ざかっていたが、秋季リーグ戦で野球部がやった。

春の覇者・亜細亜大との直接対決に敗れたものの一年生投手武田久らの活躍で優勝争いに加わっていた駒大は、最終節で亜細亜大が連敗し、優勝のチャンスが巡ってきた。

優勝のかかった専修大二回戦、四回に2点を先制。

五回に1点を返されたもののその後着実に追加点をあげ、5-1で試合終了。優勝の瞬間、五色の紙テープが鮮やかに選手達を祝福する。七季ぶりに太田監督が宙に舞った。応援の歓声が一層大きくなる。涙を流すチアリーダー達。神宮球場で優勝の姿が似合うのはやはり駒大が一番なのである。この優勝を期に連覇を続けてほしい。

日本インカレ)決勝戦が、国立競技場で行われた。順調に決勝戦まで駒を進めた駒大の相手は、関東リーグ優勝の国士館大。文字通り大学日本一を決めるにふさわしいカードとなった。試合は、駒大が立ち上がり5分間で2点を先制、これでリズムをつかみ序盤から最後まで主導権を握つての快勝(3-1)であった。

この試合で、商学科三年の盛田剛平選手がMVPに選出された。盛田選手はJリーグも注目の大型FWである。

シーズン最後を締めくくつたのは天皇杯。ご承知のとおり、Jリーグチームと対戦できる唯一の公式戦である。一回戦市立船橋(千葉)、二回戦大塚(徳島)と撃破した駒大は、三回戦で横浜フリューゲルスと対戦した。

十二月十四日、三ツ沢球場での試合は、まさに胸

卒業生紹介

藤田幸則(経済学科)

藤田幸則君は平成九年度陸上競技部の主将を務めチームをまとめました。自らも出雲大学駅伝2区、全日本大学駅伝4区で区間賞を獲得する活躍を見せ、平成九年度学長賞を受賞します。

卒業後はトヨタ自動車(愛知県)で競技を続けますのでご声援ください。

左足の芸術的なシュートを決めて1点差。その後、キヤブテン斎藤(政4)のセvens抜群のスルーパスを走り込んだ小林(法2)を決めて同点。この時、会場に詰め掛けたフリューゲルスサポーターも駒大の実力を認め、驚嘆の声をあげていた。Jリーグに負けない技術、戦術を証明した。最後は、強引とも思える攻撃の前に失点し惜しくも3-4で敗れたが、プロを相手にフェアプレーを貫き、翻弄したこの試合はまさか、最高の大サッカー部史上、最高の試合であったと思う。

昨夏に秋田監督が就任、以来テーマとしていたボールを早く動かすサッカー、前線からのプレスといった戦術が徐々に実を結んできている。98年も駒大サッカー部から目が離せない。

が出場したこの大会で、1時間30分21秒の歴代学生最高記録をマークした。強い向かい風、横風に悩まされたレースであったがそのハントをものともせず、これまでを記録を42秒更新した。藤田(敦)は優勝した渡辺康幸選手(エスビー食品)に34秒遅れの2位でゴールした。日本を代表するトップランナーとわずかな差でのゴールは、藤田(敦)の能力の高さを長距離界に十分にアピールするものであり、エスビー食品瀬古監督からも将来マラソンに向けて楽しみを選手と評価された。

やっばり駒大は野球が強いと盛り上がらない。しばらく優勝から遠ざかっていたが、秋季リーグ戦で野球部がやった。

春の覇者・亜細亜大との直接対決に敗れたものの一年生投手武田久らの活躍で優勝争いに加わっていた駒大は、最終節で亜細亜大が連敗し、優勝のチャンスが巡ってきた。

優勝のかかった専修大二回戦、四回に2点を先制。

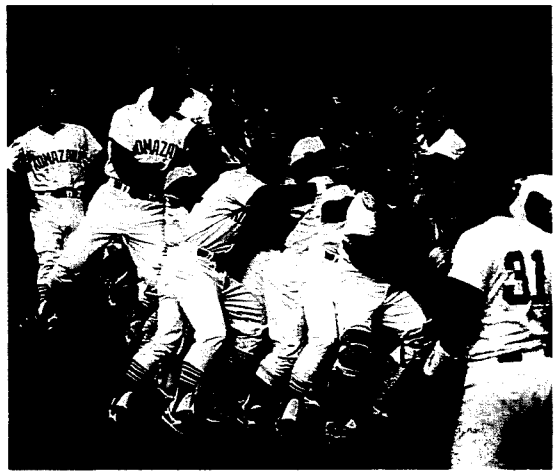
五回に1点を返されたもののその後着実に追加点をあげ、5-1で試合終了。優勝の瞬間、五色の紙テープが鮮やかに選手達を祝福する。七季ぶりに太田監督が宙に舞った。応援の歓声が一層大きくなる。涙を流すチアリーダー達。神宮球場で優勝の姿が似合うのはやはり駒大が一番なのである。この優勝を期に連覇を続けてほしい。

日本インカレ)決勝戦が、国立競技場で行われた。順調に決勝戦まで駒を進めた駒大の相手は、関東リーグ優勝の国士館大。文字通り大学日本一を決めるにふさわしいカードとなった。試合は、駒大が立ち上がり5分間で2点を先制、これでリズムをつかみ序盤から最後まで主導権を握つての快勝(3-1)であった。

この試合で、商学科三年の盛田剛平選手がMVPに選出された。盛田選手はJリーグも注目の大型FWである。

シーズン最後を締めくくつたのは天皇杯。ご承知のとおり、Jリーグチームと対戦できる唯一の公式戦である。一回戦市立船橋(千葉)、二回戦大塚(徳島)と撃破した駒大は、三回戦で横浜フリューゲルスと対戦した。

十二月十四日、三ツ沢球場での試合は、まさに胸



優勝の瞬間喜びが爆発した